



冬の火災に要注意

—— 日頃の心がけで火災予防を ——

空気が乾燥し、暖房器具の使用が増える冬は、1年を通して火災の発生が多い季節です。火災の多くは、ちょっとした不注意で発生しているため、一人一人が防火意識を持ち、火災を予防しましょう。

ストーブ火災

誤給油が火災の原因に！

ガソリン・混合油（以下「ガソリン」という）は、揮発性が高く引火点が低い液体です。ストーブの燃料として誤ってガソリンを給油し使用すると、異常燃焼を起こし火災に発展します。石油ストーブ又は石油ファンヒーターに給油するときは、補給する油種をしっかり確認しましょう。

農機具用に保管していたガソリンを、灯油と間違えてストーブに給油し火災になることも！！

ガソリンと灯油の保管場所を分けて誤給油を防止しましょう

同じ場所での保管は誤給油の原因！



電気火災

過電流にしない！

コンセントやテーブルタップは、定格容量（許容電流）が決まっています。たとえ足配線で多くの電気機器を同時に使用すると、定格容量を超えてコードが発熱し、出火する危険があります。



たとえ足配線は過電流の原因！

コンセントの差し込み数は少なくとも…定格容量を超えると危険です。

使用する電気機器の消費電力や、コードの許容電流を確認してから使用しましょう



テーブルタップの定格容量は 1500W



過電流で発火!
消費電力 3400W >
定格容量 1500W = 過電流！



火災実験
動画はコチラ